

令和5年度  
生駒市地域学校協働活動  
各校区の取組



生駒市コミュニティ・スクール連絡協議会

## 1. 活動の内容と工夫

【具体的な活動内容】

### 生駒小学校区地域学校協働本部事務局会議(6/28 10/3 12/4 2/5)

地域学校協働本部の諸活動の充実と円滑な運営を行うため、本年度より事務局会議を定期的で開催した。活動内容のアイデアを出し合ったり、運営上の改善点を検討したりしてきた。さらに令和6年度の150周年記念行事を開催するにあたって、地域学校協働本部がイベントの一部を担当することになり、その内容について検討を重ねる場としても有効に機能している。

- ・6/28 夏期休業中の活動の確認  
150周年記念行事へのかかわり方について
- ・10/3 これまでの活動の情報交換 新規活動の検討  
運動会等の学校行事に関する情報交換
- ・12/14 各校・園の取組状況の情報交換  
150周年記念行事準備の進捗状況の確認
- ・2/5 第3回生駒小学校区地域学校協働本部会議に向けての打合せ  
150周年記念行事における活動内容の検討



本校の協働活動は「学習・心」「安全」「環境」の3チームに分かれて活動している。夏・冬の学校閉庁期間中の「環境」チームによる、水やり・うさぎの世話の連絡方法を、事務局員が「すぐる」連絡メールで募集することになり、完全に学校の手を離れた。また、夏休みの「親子ダンス」の開催が実現するなど、当事務局会議の存在が、地域学校協働本部活動の充実につながっている。

【実施に当たっての工夫】

当協働本部の活動は、本校だけでなく校区内にある保育園・幼稚園・こども園を含む地域の活動となっている。そこで、本年度より、年度初めと年度末の2回の地域学校協働本部会議だけでなく、7/25に保幼小連携連絡会と協働本部会議の合同会議を開催し、保幼小の教職員と地域の皆さんの意見交換会を行った。それぞれの立場から見た地域の子どもの姿やどのような子どもたちに育ってほしいかという願いを話し合い、今までにない有意義な機会を持つことができ、小学校と各園のボランティア活動の統合に資する取組となった。

## 2. 活動を実施しての効果・成果

・昨年度に引き続き、本校では「持続可能な生駒」を目指し、地域に根差した児童の学びを実現するため、「生駒」の良さを見つけ学び発信する学習活動を展開している。本年度はこの取組をさらに進めて、ESD教育に根差した活動を各学年で計画・実施した。地域の皆さんの支援を得ての、いこまの魅力発見、地域の防災、いこまのまちの歴史といった学習活動が、子どもたちの「いこま」を大切にすることを心がけることにつながった。

・小学校区の地域学校協働本部活動として、保幼小でのボランティア活動も徐々に広がりつつあることが実感できた。

# 一人一人が輝き生きる力を育む地域学校協働活動 ～地域とともに育つ子ども・学校を目指して～

学校名：生駒南小学校

## 1. 活動の内容と工夫

### 【具体的な活動内容】

これまで「南小サマースクール」（令和5年度より南小中合同サマースクール）やクラブ活動の「ボードゲームクラブ」に出前教室などで来ていただいていた「囲碁のまち生駒プロジェクト」の方々に令和6年1月31日（水）に放課後子ども教室に来ていただきました。

いつものように宿題などの課題に取り組んだ後に、掲示用囲碁盤を使って囲碁のルールを教えてくださいました（写真左）。放課後子ども教室は1年生から5年生の23名の子どもが参加していますが、どの子ども集中して話を聞いていました。

初めて囲碁を体験する子どもたちも「囲碁のまち生駒プロジェクト」の方々に教えていただきながら「ミニ対局」などを楽しんでいました（写真右）。

囲碁を学ぶことで、「考える力」、「論理的思考力」、「集中力」や「忍耐力」など、数え切れないほどの能力が身に付くというお話もあり、子どもたちが、学校や家庭で囲碁を始める機会になればと思います。



### 【実施に当たっての工夫】

放課後子ども教室には、1年生から5年生までの子どもたちが参加しているので、どの子どもも楽しく活動できるようなものを計画するにあたり、囲碁の出前教室は、これまでも「南小サマースクール」などで、初めての子も楽しく取り組むことができていたので実施しました。

## 2. 活動を実施しての効果・成果

放課後子ども教室に参加することにより、子どもたちは、宿題などの課題の学習習慣の定着を図ることができ、ユニバーサルスポーツの「モルック」や「ヤクルト出前授業」等の多様な体験活動を通して経験値を向上させることができました。また、地域の方々や異学年の友だちとの交流を通してコミュニケーション能力の向上にもつながりました。

# 3つの「したい」ができるんだよ わたしたちの地域は

～生き生きと学び合える地域～

～豊かな体験と学力の向上を目指す地域～

～地域のきずなを深め、地域を好きになる～

学校名：生駒東小学校

## 1. 活動の内容と工夫

	1年間の主な活動内容
全体会	活動計画 連絡体制 進捗状況 取組における学校での変化 次年度計画
環境整備	枯れ葉清掃 樹木剪定 校内の草刈り 花の植え替え作業 モニュメントの修繕
子ども支援	クラブ活動 昔あそび体験 あいさつ運動 本の読み聞かせ・修繕 学習支援

### 【具体的な活動内容】

～ 昔あそび体験 ～

1年生の子どもたちが、児童民生委員やむつみ会の方から、「めんこ」「コマ回し」「竹馬」「あやとり」「羽付き」「だるまおとし」などの昔あそびを教えてもらいながら、交流する。



いっしょに むかしあそびをするのを、たのしみにしていました。

そうか！  
こうすれがいいんだ！  
やってみるね。



ほら！できたよ！  
見て見て！



しっかり支えてね！  
よいしょ、よいしょ



### 【実施に当たっての工夫】

- ・地域の方から、事前に子どもたちの思いを聴くだけでなく、当日の活動の流れの打ち合わせを行い、児童が体験できる機会を確保する。
- ・子どもたち自身で活動できるように、事前指導を行い、活動中は、主体的に活動できるようにすることで、地域の人とふれあう時間をできるだけ多く確保した。また、学習の振り返りの一つとして手紙を地域の方に渡した。

## 2. 活動を実施しての効果・成果

- ・子どもたちが、地域の人々とかかわりあいながら活動することで、きずなを深め地域を大切にすることを学ぶ機会になっている。
- ・準備段階から、地域の方と思いを共有する機会となり、今後も活動を続ける必要性を互いに感じる事ができた。
- ・地域の方が感じている、子どもたちへの思いや願いを聴く機会となった。

# 新しい時代をたくましく生きる子の育成を目指す地域学校協働

## ～ハートフルサークルとの活動を通して～

学校名：真弓小学校

### 1. 活動の内容と工夫

#### 【具体的な活動内容】

#### ○ハートフルサークルとの校内環境整備

##### (1) 花壇や畑の整備

毎年、保護者の方からスクールボランティアを募り、「ハートフルサークル」と称して様々なボランティア活動に参加していただいています。その活動の一つとして、校門横や児童玄関前の花壇、中庭の観察池の周りの環境整備があります。栽培委員会の児童といっしょに、季節の花の苗や野菜の種を植えて、環境整備を進めました。活動に際して、近隣の「生駒市花のまちづくりセンターふろーらむ」のご担当者の方に講師として来校いただき、花の苗の植え方等についてご指導をいただきました。丁寧なご指導のおかげで、年間を通じて校内が美しい花々に囲まれ、児童のみならず保護者や来校者の方々に、大変喜ばれています。また、畑では校内で飼育しているうさぎのえさになる人参を栽培しています。児童が、ハートフルサークルや地域の方々と協働して積極的に環境整備活動に取り組むことができました。



児童玄関前花壇



中庭の観察池の周り



野菜の畑

##### (2) うさぎ小屋の整備

昨年度末に今まで飼育していたうさぎが亡くなり、今年度6月から新しく2羽のうさぎを飼い始めました。うさぎが新しい環境に早く慣れるように、飼育委員会の児童とハートフルサークルの方々が協力して、うさぎ小屋の環境整備を行いました。うさぎ小屋の中をこまめに清掃し、適切なえさの量を管理したり、寒さからうさぎを守るために、風よけの透明シートを小屋に取り付けたりしました。児童が中心となって、うさぎの名前を全校の児童から募集しました。木の棒でうさぎの名前を形作った看板を作成し、うさぎ小屋の入口に掲示する活動にも進んで取り組んでいました。



清掃が行き届いたうさぎ小屋

#### 【実施に当たっての工夫】

児童が校内の環境整備に主体的に取り組めるよう、児童の思いや考えを大切にしながら協働活動を実施しています。また、ハートフルサークルの方々にも、無理のない範囲で楽しみながら活動していただけるように、リーダーの方を中心に活動日程等の調整を進めていただいています。

### 2. 活動を実施しての効果・成果

ハートフルサークルとの活動を通して、児童が積極的にアイデアを出して活動している姿が見られます。また、活動の内容を充実させるために、「ふろーらむ」等、他の団体との関わりも深まっています。今後は、さらに児童が主体的に活動できるよう支援を進めるとともに、ハートフルサークルの方々とのつながりを密にし、継続して活動できるようにしていきたいと考えています。

# 「共に育つ（考えをみがく・心をみがく・仲間とみがく） 地域学校協働活動」

～地域とともにある学校を目指して～

学校名：俵口小学校

## 1. 活動の内容と工夫

### 【具体的な活動内容】

本校では、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」とを推進している。「地域とともにある学校づくり」については、コミュニティ・スクールの母体である学校運営協議会が、「学校を核とした地域づくり」については、地域学校協働本部が、互いを補い合いつつそれぞれの活動を担っている。地域学校協働活動を、「地域と学校で、課題や目標を共有し、幅広い層の地域住民や団体が緩い繋がりで見守りながら、解決に向けた具体的な活動を進める」とらえ、両会の委員の方々からのご意見や、学校自己評価・教育活動アンケートで得た声を踏まえ、年間を通じて様々な取組を進めている。具体的な活動内容の一つとして、放課後子ども教室の様子を以下に示す。

### 「放課後子ども教室」

俵口小学校放課後子ども教室は、子どもたちにとって安心して活動できる居場所づくりとして、また、地域住民とのふれあいの中で自己肯定感や自己有用感を高める場として、月曜日の3時から4時30分まで地域多目的室とひびきあいホールで実施している。

1年生11人、2年生7人、3年生6人、総勢24人の子どもたちが登録している。スタッフは、地域学校協働本部推進委員会で募り、9人が分担して行っている。

活動の前半30分は、学習タイムとして宿題やプリント学習を行い、スタッフが学習支援や丸付けをしている。後半60分は、昔遊びや栽培活動、モルック、科学教室など、スタッフが得意とする分野の体験活動、また、防災教室や紙芝居、バルーンアート、腹話術、オカリナ演奏等のゲストティーチャーによる体験活動を行っている。

令和5年度は、年間25回の活動実施をめざし、現在も取組を進めている。



学習活動



サツマイモの栽培活動



モルック体験



防災教室（赤十字）



腹話術体験



科学実験教室（光の不思議）

## 2. 活動を実施しての効果・成果

児童は、温かく見守られながら安心して意欲的に学習に取り組むことができた。また、様々な体験活動を通して知識を広めるとともに、自尊心や自己肯定感の向上を図ることができた。学校だけでなく校外で地域の方々とお会いした時も、自ら笑顔で挨拶を交わす姿が多くみられるようになった。地域の方々にとっても、児童の様子をより詳しく知っていただく機会となり、児童の育ちと地域の活性化とを考えた活動内容を主体的に考えてくださるようになった。

放課後子ども教室やもう一つの取組である学校ボランティアによる協働活動により、地域と学校が互いに顔が見える関係となってきた。教員から、「子どもたちの学びを考えたとき、地域の力を借りることのできるが増えるのであれば積極的に考えて取り組んでいきたい」という声があがっている。今後は、地域と学校が課題や目標について熟議・共有する機会をもち、協働活動の更なる可能性と発展を探りながら取り組んでいきたい。

# 子どもの健全育成を支える地域学校協働の輪 ～地域とともに育つ子ども・学校を目指して～

学校名：桜ヶ丘小学校

## 1. 活動の内容と工夫

### 【具体的な活動内容】



児童が登校する日は必ず、学校に隣接する桜ヶ丘公園の横断歩道と交通量の多い国道168号線の歩道の3か所において、毎朝7:30～8:20まで児童の登校の様子を見守って下さっている。

桜ヶ丘公園の横断歩道は桜ヶ丘自治会で交通指導員を募って組織し、交代で見守って下さっている。

国道168号線の歩道では毎日決まった方が同じ場所で立って下さっている。

いつも子どもたちに挨拶の声をかけて下さり、地域の方との交流につながっている。

### 【実施に当たっての工夫】

5月に開かれる桜ヶ丘交通指導員総会に校長も参加し、意見交換や交流を行っている。

校長が可能な限り朝の立ち番を一緒に行い、児童に挨拶を推奨するとともに、立って下さる地域の方とコミュニケーションをとるようにしている。

## 2. 活動を実施しての効果・成果

毎朝声をかけていただくことにより、児童アンケートでは「進んで挨拶をしている」と答えた児童は80%いた。しかし、声が小さかったり、声をかけてもらっても素通りしたりする児童がいるので今後も啓発は必要である。

保護者アンケートでは、75%の方から「地域とともにある学校づくりに取り組んでいる」と肯定的な回答を得られた。一方で、あまりあてはまらない、分からないといった回答もあり、学校だよりやXを利用して発信しているが、保護者への啓発とともに学校への協力依頼を今後も進めていく必要がある。また、子どもたちが、地域の方々が支えてくれていることを知り、感謝の気持ちを伝えるとともに、今後は自分がどのように地域とかかわっていくのかを考えさせていきたい。

# 心豊かに自ら学ぶ子を育む 創意と活力にみちた地域学校協働活動

～ 一人ひとりが輝ける安心安全な地域・学校を目指して ～

学校名:あすか野小学校

## 1. 活動の内容と工夫

【具体的な活動内容】放課後子ども教室『まなびいや』の取組 ～12月「お店屋さんごっこ」～

毎週月曜日の放課後、学校多目的室または体育館で、イベント教室や自習教室を実施。同日に自習を行ってからイベントを実施する場合もある。参加児童は会員登録制で今年度は1～6年生合わせて147名。スタッフは10名。各回30～40名程度になるよう、学年やクラスの組み合わせを調整している。

今年度イベントの内容〔・ゲーム大会（オセロ、トランプ）・夏の絵はがき作り・ハロウィーングッズ作り・モルック・お店屋さんごっこ・ハンドボール教室・ボッチャ〕

12月11日（月）の「まなびいや」は『お店屋さんごっこ』を実施し、1～6年生の全学年の会員登録児童が体育館に集まり、お店開きを行った。商品は全て子どもたちの手作り。遡ること5月の「まなびいや」で、色紙、発砲スチロール、毛糸、ビーズなどを上手く利用し、スイーツ、おすし、ハンバーガー、お魚、アクセサリ等の商品を創作した。本来、9月に『お店屋さんごっこ』の本番をする予定だったが、子どもたちが一生懸命工夫して作った商品のクオリティがとても高いのと、もう少し品数を増やしたいのとで、9月の「まなびいや」でも商品作りを続けることにした。本番の一つ前の回、12月4日（月）の「まなびいや」では、商品の値段や担当するお店を決めたり、ポスター作りを行ったりした。そして本番当日、1～6年生が一堂に会してのイベント教室は初めての試みだったが、体育館に出店されたお店はどこも大盛況。売る班、買う班が前半と後半で交代しながら「まなび」という金券でお買い物を楽しんだ。最後は、全員の大ビンゴ大会で店じまいとなった。



### 【実施に当たっての工夫】

毎月第一土曜にスタッフ会議を行い、毎月の活動内容の企画や準備を行っている。今回のイベント「お店屋さんごっこ」では、スタッフがあらかじめケーキやキャンディーなどの見本を簡単に作って示したり、折り紙や色画用紙を利用した商品の創作本を用意したりして、子どもたちが商品作りをするにあたってイメージしやすいようにしてくださった。それにより、子どもたちの創作意欲が引き出され、創造性豊かな様々な商品が生み出された。当日は、子どもたちが売る側と買う側の両方を体験できたことで、楽しさが倍増したようである。スタッフの皆様には、会場設営等でもご尽力いただいた。

## 2. 活動を実施しての効果・成果

全学年の会員登録児童が一堂に会したことで、異学年交流を大規模に実施できた。そして、高学年は低学年をリードし、低学年は高学年のお兄さん、お姉さんを慕い、それぞれの役割を果たせた。さらに、地域ボランティアであるスタッフの方々に加え、見守りボランティアの方々も駆けつけてきてくださり、子どもたちにとっては、日頃、登下校でお世話になっている方々とも交流できたことで、いつもの「まなびいや」とまた違った雰囲気を楽しみ、思い出深い活動となった。



地域と共にある、開かれた学校づくりを目指して  
～めざす児童像（元気よくあいさつする子）の共有から見えてくること～

学校名：壱分小学校

## 1. 活動の内容と工夫

【具体的な活動内容】

### ○授業支援活動

#### ・家庭科ミシン補助

ミシンを使っての学習に地域の方や保護者の方に補助をしていただいた。1日当たり4名～6名ほどの方に入っていたが、5年生はエプロン、6年生はナップザックを作成した。分からないことをすぐに聞けることが、児童の安心感につながった。一人ひとり丁寧に指導してもらうことで、意欲的に学習に取り組むことができた。



#### ・図工彫刻刀補助

4年生の木版画の授業で、彫刻刀を使う学習で民生児童委員の方に補助していただいた。1日当たり2名～3名ほどの方に来ていただいた。初めて彫刻刀を使うとあって慣れていない様子が見られましたが、アドバイスをもらったり、見本を見せてもらったりしながら安心して作業を進めることができた。



【実施に当たっての工夫】

今年度、壱分小学校スクールボランティア総会を初めて開催し、やまびこネットワークや民生児童委員、保護者の方など多くの方に参加していただいた。これまで参加したことがない方ともつながりを持つことができ、ボランティア参加のきっかけをつくった。

## 2. 活動を実施しての効果・成果

これまで壱分小学校では、包括型の地域学校協働活動を行ってきた。今年度は、これまでボランティア活動をしていただいていた、やまびこネットワークや気らくネット、民生児童委員、老人会の方々に加え、PTAにも声をかけることとした。その上で、壱分小学校スクールボランティア総会を行うことで、学校とボランティアまたボランティア同士のつながりを作ることができた。また、初めてボランティアに参加した方もいて、人材の発掘につながった。

# 心豊かにたくましく生きる児童を育む地域学校協働活動 ～「みんなの二小」 地域と共に歩む学校を目指して～

学校名:生駒南第二小学校

## 1. 活動の内容と工夫

創立 41 周年を迎える本校は、創立当初より保護者・地域とのかかわりが深く、特に平成 25 年に地域と学校の協働活動として「二小コミュニティ協議会」が設立されて以降、学校支援の母体として継続した活動を行っていただいている。ボランティア内容も授業やクラブ委員会支援、校外学習引率、地域学習講師、読み聞かせ、栽培活動など多岐にわたる。また「はばたき夏祭り」や「防災訓練」など、二小校区自治会や自治防災会との協働活動も毎年実施している。

### 【具体的な活動内容】 「防災訓練」

日時：令和 5 年 11 月 11 日（土）

目的：緊急時に備え、地域防災訓練を地域・学校が協働して行う。

内容：（学校）土曜参観後、避難訓練、保護者引き渡し訓練を実施。

（地域）避難所開設訓練（図工室）及び炊き出し訓練（家庭科室）を実施。

（児童・保護者）引き渡し訓練後、炊き出し訓練に参加し、防災について話し合いながら豚汁とおにぎりを食べる。



引き渡し訓練



地域防災訓練



炊き出し訓練



炊き出し訓練



炊き出し訓練

### 【実施に当たっての工夫】

4 月に「二小コミュニティ協議会・学校ボランティア代表者会議」を行い、協力者や活動内容について確認する機会を持った。その会議を受けて、5 月に「二小コミュニティ協議会総会」を開催し、年間の計画について提案しボランティアの希望者を募る活動を行っている。

防災訓練実施当日は、防災安全課と協力し、自治防災会が中心となって活動を進めている。学校行事として根付いている活動ではあるが、地域で行う防災訓練の意義を学級で指導し、学年に応じた「自助」「共助」「公助」を体験する場であることを意識させて取り組ませている。

## 2. 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

「地域と共に歩む学校」をテーマに、平成 25 年に発足した「二小コミュニティ協議会」の活動を受け継ぎながら、地域学校協働本部の活動を進めている。防災訓練は、その発足に関わる活動で、依頼 10 年にわたって継続している取組である。

自治防災会との打合せを綿密に行い、気候状況に合わせて実施場所を検討するなど臨機応変に対応することができている。

児童は「はばたき地域学習」として、5 年生で「地域防災について」6 年生で「地域ボランティアの活動について」話を聞いたりボランティア活動を実際に行う体験をしたりしている。それらの経験により「地域」との関わりをより身近に感じることができていると考える。

職員にとっては、直接地域の方とのつながりを持つことが難しいことを感じていたが、地域学校協働活動の取組を通じ、両者の「壁」を取り除いた関係を築くことができています。今後も、「みんなの二小」として、学校と地域との信頼関係をさらに強固なものとしていきたい。

# 優しく豊かな心を持ち、自ら考え行動する生徒を育む地域学校協働の輪

## ～地域とともにたくましく育つ子ども・信頼される学校を目指して～

学校名：生駒中学校

### 1. 活動の内容と工夫

#### 【具体的な活動内容】

生徒、職員を対象に地震を想定した避難訓練を行い、消防署と連携した消火訓練も行った。本校が地域の方々の避難場所になっていることから、避難を想定して参加可能な方に来校していただき、避難場所の確認、避難者名簿の記入をし、生徒の様子を見守っていただいた。



#### 【実施に当たっての工夫】

今年度はじめて行った活動であるが、今後この活動を続けていき定着させていきたいと考えているので、地域の方があまり負担に感じることなく、気軽に参加していただけるような内容、声のかけ方をさせていただいた。今年度の様子を聞いた地域の方が、次は参加してみたいと感じて参加者が少しずつ増えていけいといいと考えている。

### 2. 活動を実施しての効果・成果

今年度はじめて防災訓練を地域の方といっしょに行うこととし、学校に足を運んでくださり、学校や生徒の様子を地域の方に見ていただけたことが、今後のコミュニティースクールの活動につながる大きな一歩になったのではないかと感じている。

# 一人一人が輝き生きる力をはぐくむ協働活動

学校名：生駒南中学校

## 1. 活動の内容と工夫

### 【具体的な活動内容】

地域クリーンアップ活動 11月24日（金）

日ごろからお世話になっている地域の方々へのお礼の気持ちを込めて、地域クリーンアップ活動を実施しました。今年度は、生駒南小学校6年生も参加し、生駒南小・中学校合同で実施しました。自治会を中心とした地域の方々、保護者の方々との協力し、全校生徒が自分の住んでいる地域の道路や公園の清掃活動をおこないました。地域貢献と共に、地域の方々と自然に声を掛け合い、顔の見える関係づくりの機会をもてるようになることも目的としています。



### 【実施に当たっての工夫】

地域学校協働活動の理解を深めていただくために昨年度末、自治会長の皆様にご集まっていただき、取組（花いっぱい運動・除草作業・地域クリーンアップ活動）の悩みや心配事、課題等を各自治会同士の見聞交流の機会を設けました。さらに、今以上に地域の方々に参加していただけるよう、自治会でボランティア募集の案内を回覧いただいたり地域の老人会の集まりの際、ボランティア募集の案内をしたりしています。また、生駒南中学校のTwitterを活用し、ボランティア募集の案内と活動の様子を写真で紹介しています。次年度も生駒南小・中学校合同で取り組もうと計画しており今年度の課題と来年度に向けての打ち合わせを進めていきます。

## 2. 活動を実施しての効果・成果

地域の方々や保護者の方々の、地域学校協働活動への理解が進みました。学校運営協議会の熟議の場でも、地域での生徒の様子が自然と話題になり、普段から中学校の活動や生徒の様子を気にかけていただいていることが分かります。そして、何よりこまめな連絡が活動を行う時の連携に繋がる感じた1年でした。今後、コミュニティスクールの活動内容を徐々に充実させていきます。

伝統と人のつながり、地域に誇りをもって  
～自ら考え行動し、未来を切り開く児童生徒の育成～

学校名：生駒北小中学校

## 1. 活動の内容と工夫

### 【具体的な活動内容】



育友会主催によってわくわく体験教室「お茶会」が開催されました。地域の特産品が茶釜であることから、本校では学校行事として茶釜作り体験、茶道を通した作法教室などが行われていますが、この「わくわく体験教室」では親子で茶道体験に参加ができ、礼儀作法を学ぶとともに、実際に自らお茶を立てています。

### 【実施に当たったの工夫】

普段から作法教室でご指導をいただいている茶道講師だけではなく、地元茶釜師の方々も参加し、茶釜の歴史や茶道の文化について指導をいただいています。茶道講師や茶釜師の方々から指導をされていますが、かたい雰囲気にならずに茶道の入門編として、親子で楽しく学べる場となっています。

## 2. 活動を実施しての効果・成果

普段から、茶道体験を通して、地元の工芸品の茶釜にふれあっている児童生徒が、茶釜師の方々からふれあうことでより深く茶釜や茶道を学び、その根底に流れる思いやりの精神を学んだり、地元の文化に誇りや愛着を持ったりする様子が見られます。また、親子や教員が参加することで地域・保護者・学校の良い交流の場ともなっています。

# 学校の課題を共有し地域と共に成長するコミュニティスクール

～学校が地域と上中学校をつなぐ居場所となることを目指して～

学校名：上中学校

## 1. 活動の内容と工夫 花いっぱい活動

### 【具体的な活動内容】

- ・お花のサポーター活動は、毎月第1木曜日午前中にサポーターが集まり定期的には花壇等の除草など環境整備全般を行っている。毎回6～8名程度の参加である。
- ・年2回（今年度は6月28日・12月1日）花いっぱい活動を実施

花いっぱい活動は、花の寄せ植え作業を花のまちづくりセンター「ふるーらむ」の方によるアドバイスを受け、お花のサポーター・生徒の委員会活動（整美委員会）・育友会活動部を中心として保護者の皆さんと合同で実施している。日々の花の水やりなどは学校生活の委員会活動として行い、特に長期休業中や土・日祝日は育友会の方々が協力してくれている。また鉢植えの手入れは月1回のサポーターの活動の一つとなっており、草花それぞれに応じた手入れをしていただくことで、次の植え替え時期までどの草花もいきいきとしている。



### 【実施に当たっての工夫】

寒さに強い草花 夏まで  
ずっと楽しめます

暑さに強い草花  
次々に花が  
入りかわり  
咲きます

花いっぱい活動は、毎年期末テスト最終日の午後から実施と定着している。それぞれ夏から咲き始めて12月頃まで、また冬から春・初夏頃までその季節に応じた花が咲いている寄せ植えとなっているため、一年を通して玄関はいつも花が咲いている状態、「花いっぱい」となり、来校者をも楽しませてくれている。参加生徒は一人につき鉢の寄せ植えを行っているが、どの鉢も同じものはなく、それぞれ個性あふれた作品となっている。またネームプレートを付けることで、一層愛着が生まれている。

## 2. 活動を実施しての効果・成果

育友会活動の一つであった花いっぱい活動を、地域と共に活動することに移行し3年を終えようとしている。サポーターによる月1回の花の手入れは、普通学校だけではできない作業を色々補ってくれている。生徒たちは、地域の方々と共に活動することを最初はとてもぎこちなかったように感じるが、今では草花の植え方や選び方なども質問しながら作業を進めることができている、自然と地域・生徒・保護者のコミュニティーの場となっている。生駒市花と緑の景観まちづくりコンテストでは、学校部門まちづくり賞を昨年・一昨年と2年連続受賞することができた。このことはまた活動の大きな励みとなっている。

## 「地域とともにある学校」の一層の推進に向かって

学校名：光明中学校

### 1. 活動の内容と工夫

【具体的な活動内容】

#### ・ 7月5日（水） ゆかたの着付け体験授業

1年生の家庭科の授業で、地域の方（4名）と家庭科の教員が一緒に、ゆかたの着付け体験授業を行いました。学校にはゆかたがひとつもありませんでしたが、3年前に、家庭科の教師より、ゆかた着付け体験授業をやりたいとの要望があり、学校運営協議会の議案にあげ、メンバーからも協力の賛同を得て、学校運営協議会の方々からの協力・呼びかけで地域の方や保護者の方からたくさんのゆかたを寄贈いただき、実施が可能となりました。今年度も、地域の方（4名）の協力のもと、授業で、丁寧に指導していただき、子どもたちが着付けの本格的な方法について学ぶ以外に、日本の文化についての理解を深めるよい機会となりました。生徒たちの中には、「夏祭りに着て行きたい」という声も上がりました。



【実施に当たっての工夫】

地域の方々に、本会の趣旨、目的等を知っていただくため、学校運営協議会のご協力のもと、周知をし、その結果、地域の方々の活動への理解が深まり、協力を得ることができた。

また、地域の方々との打合せも出来るだけ、綿密に行った。

### 2. 活動を実施しての効果・成果

この活動を通して、保護者や地域の方が生駒市立光明中学校の運営に参画し、必要な支援等について協議することにより、ゆかたの着付け体験学習などのように、地域の方と生徒が共に活動する機会ができました。今後も、より良い教育を提供し、地域に開かれ信頼される学校づくりのため、この活動を広げていきたいと考えています。

